

株主の皆様へ

第60期のご報告

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



ミシン糸の総合メーカー

株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第60期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）における営業の概況と決算につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

平成21年6月

代表取締役社長

藤井 一郎

当期の概要 昨秋以降の急速な景気後退による消費の落ち込みによって、減収を余儀なくされたほか、利益面では、連結決算においても損失を計上することとなりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、秋口の米国金融危機に端を発した世界同時不況と、これに伴う激的な円高及び株式市場の急落を受けて、輸出型製造業を中心に急速に業績が悪化しました。またこれに関連して広範囲にわたって生産及び雇用の調整が顕著となり、景気の失速感と先行きの不安感が一気に蔓延するなど、未曾有の状況に陥りました。

縫い糸市場も、先行きの生活不安感から、消費マインドの急速な萎縮と、生活防衛意識の高まりを受けて、国内の衣料品の売れ行きが一層落ち込むとともに、世界の縫製基地となった中国縫製市場も大きな打撃を受け、日本・中国ともに一層厳しい状況に陥りました。

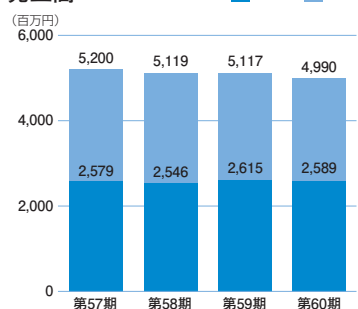
このような状況の中、当社グループは、日中両市場におけるシェア拡大と、手作りホビー分野での需要の掘り起こしなど、引き続き中期の経営課題に取り組みつつ、将来の競争力強化のため、国内生産拠点の移転統合を実施しましたが、日中両市場での大幅な衣料品の生産調整の影響は避けられず、これらの結果、当連結会計年度の売上高は、4,990百万円（前期比2.5%減）となりました。

また利益面は、昨秋以降に小幅ながら製品の価格改定（値上げ）を順次実施したものの、売上減少と、生産拠点の移転統合に伴う減価償却費負担増による製造原価の上昇に加え、先行的な諸経費の増加や、貸倒引当金の計上もあって、営業損失が、86百万円（前期は141百万円の営業利益）、経常損失は、132百万円（前期は191百万円の経常利益）となりました。

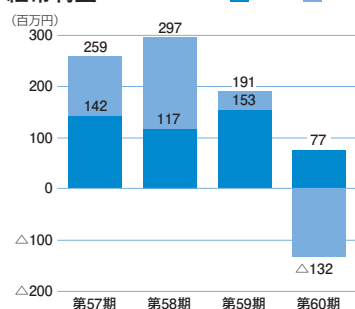
また、生産拠点移転統合損失（特別損失）を追加計上したことや、繰延税金資産の回収可能性を見直し、繰延税金資産の全部及び繰延税金負債の一部を取崩したことなどにより、当期純損失は、272百万円（前期は39百万円の純利益）となりました。

財務ハイライト（連結）

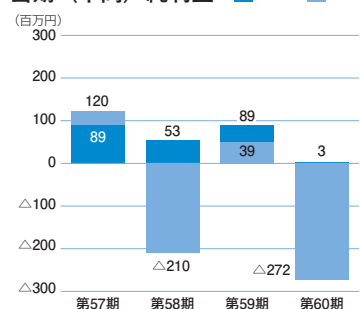
売上高



経常利益



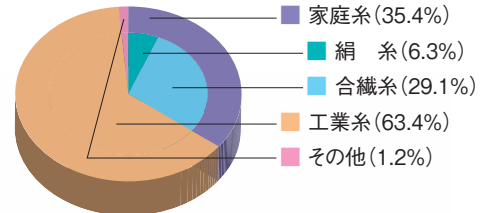
当期（中間）純利益



部門別売上高（連結）

部 門		金 額
家 庭 糸	絹 糸	316百万円
	合 織 糸	1,453百万円
小 計		1,769百万円
工 業 糸	合 織 糸	3,162百万円
そ の 他	原 材 料 及 び 半 製 品	58百万円
合 計		4,990百万円

売上比率



家庭糸部門

国内景気の急速な悪化と先行きの不安感から、消費マインドの萎縮と生活防衛意識の高まりを受けて、手作り手芸関連も全般に低調に推移しております。当社は、家庭用縫い糸のトップメーカーとして、引き続き、縫い物や刺繍の楽しさを広めるための提案や販売促進に努め、国内シェアのさらなる拡大と、ソーイング需要の掘り起こし及び海外市場への参入にも努力いたしました。また昨秋には主力製品の価格改定を実施したこともあって、当部門の売上高は、ほぼ前期並みを維持し、1,769百万円（前期比0.2%増）となりました。

工業糸部門

国内については、海外の大手製造小売業の進出などもあり、衣料品の販売競争が一段と熾烈になりつつある上に、上述のとおり、昨秋以降の景気悪化に伴う消費マインドの萎縮と生活防衛意識の高まりにより、衣料品の売れ行き全体が落ち込むなど、国内のアパレル産業はさらに厳しい環境となりつつあります。また世界同時不況に伴い、日本向けだけでなく、欧米向けなどを含む衣料品の全般的な生産減少は、今や世界的な生産輸出国となっている中国の縫製業にも大きな影響を与えております。

当社グループも、増強してきた中国の各営業拠点において販売拡大に注力しましたが、中国での販売が、前期対比マイナスに転じるなど、日本・中国の両市場において衣料品の生産減少の影響を受けました。

この結果、昨秋には小幅ながら国内において製品の価格改定を実施したものの、当部門の売上高は、3,162百万円（前期比4.4%減）となりました。

その他部門

当部門は、半製品や手芸関連商品等の販売が主なものですが、日本向け手芸関連商品の販売が増加したため、当部門の売上高は、58百万円（前期比33.6%増）となりました。



今後の見通しと当社グループが取り組むべき課題

アパレル業界は当面厳しい状況が続くと思われますが、成長可能な事業環境を見据えてひたすら中長期の課題に取り組み、業績の回復と共に全てのステークホルダーへの貢献を目指します。

国内経済については、政府の大規模な経済対策も順次実行されつつありますが、世界経済の状況や為替相場の動向なども踏まえ、わが国の基幹産業である輸出型製造業の急速な回復は難しく、雇用情勢はもちろん、消費マインドの回復には、まだ相当の時間がかかるものと思われます。

また、競争の激化と消費低迷の影響が大きいアパレル産業は、全体としては今後も長期にわたって厳しい環境が続き、企業格差も一層拡大することは避けられず、関連業界や当縫い糸業界も今後は淘汰や再編が一層進むことが予想されます。

このように、なお厳しい経営環境が予想されるものの、中長期的な事業環境について当社グループは次のように考えております。

- (1) 国内の手作りホビー分野におけるソーイング（縫い物）需要は、近年漸減傾向が続いてきたものの、ライフスタイルの多様化、進行する高齢化や格差社会を背景に、「ゆとり」や「和み」、あるいは「生きがい」が見直されつつある中で、中長期的にはソーイングを含む手作りホビーに対する潜在需要の掘り起こしが可能である。
- (2) 欧米の手作りホビー市場における当社の販売シェアがまだ極めて小さいことや、経済と生活文化の発展が著しい中国大都市部における手作りホビー需要の増加が期待できることから、為替相場の影響などは受けるものの、海外市場における家庭用縫い糸の販売拡大が可能である。
- (3) 衣料製品に使用される縫い糸（工業用縫い糸）や刺しゅう糸については、中国を始めとするアジア諸国に需要が移りつつあり、国内市場は縮小を余儀なくされてきたものの、当社の国内における工業用縫い糸の販売シェアはまだ小さく、拡大の余地は十分にある。
また、世界的な一大縫製基地となった中国においては、シェア拡大によるさらなる販売増加が可能である。
- (4) 工業用縫い糸については、縫製副資材としての性格上、安価で、しかも縫製時にタイムリーに供給されることが要求されるため、世界的に見ても縫製地の移行とともに労働コストの安価な縫製産地の近辺にその生産が移りつつあるが、高付加価値、高機能な縫い糸の生産や、国内における徹底した供給サービスの向上には、国内工場の活用が今後も不可欠である。

以上から、手作りホビーの需要を掘り起こし、製品やサービスを通して顧客満足度を向上させ、国内外の顧客の支持を得ることにより、当社グループは中長期的には十分成長可能であり、これらを実現するために下記の課題に取り組んでおります。

- (1) 顧客の信頼と満足度を高めるため、当社独自の技術開発や製品開発に努めるとともに、生産システムのさらなる改善により、コストダウンと納期短縮を徹底し、競争力の強化を図ること。
- (2) 連結子会社の製造・販売の強化及び当社との連携強化により世界の縫製基地となった中国縫製市場の開拓を一層押し進めること。
- (3) 受注の減少傾向を余儀なくされてきた国内市場においては、家庭用、工業用ともに戦略の再構築によりシェア拡大を図ること。
- (4) 低迷している手作りホビーの国内市場に対して活性化のための提案を継続して、需要の掘り起こしにチャレンジするとともに、海外の手作りホビー市場のさらなる開拓に努めること。
- (5) 業界のリーディングカンパニーを目指すべく、一層の経営体質の強化及び人材の育成と活性化を図ること。
- (6) 内部統制の維持、整備はもちろん、環境負荷の軽減を始め、企業としての社会的責任を果たし、社会の信頼を構築・維持すること。

これらの課題を着実に前進させ、今後も長年にわたって蓄積してきた技術力や開発力・提案力を活かした糸の製造業に徹して、生活に欠くことのできない「衣」の分野、心を和ませる「手作りホビー」の分野にかかわりながら、グループとしての収益力を回復させ、株主の皆様や、お取引先、従業員を含む全てのステークホルダーへの貢献を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 (平成21年 3 月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年 3 月31日現在)	科 目	当連結会計年度 (平成21年 3 月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年 3 月31日現在)
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流 動 資 産	5,669,150	6,473,145	流 動 負 債	667,241	803,910
現金 及 び 預 金	2,237,013	2,486,587	支払手形及び買掛金	171,660	365,388
受取手形及び売掛金	1,232,134	1,346,094	短 期 借 入 金	57,730	69,634
有 価 証 券	－	200,366	リ ー ス 債 務	4,450	－
た な 卸 資 産	－	2,295,825	未 払 金	113,293	96,032
商 品 及 び 製 品	1,090,239	－	未 払 法 人 税 等	7,814	14,289
仕 掛 品	676,126	－	賞 与 引 当 金	69,664	69,528
原材料及び貯蔵品	361,682	－	生産拠点移転統合損失引当金	100,300	－
繰 延 税 金 資 産	15,762	63,218	そ の 他	142,327	189,036
そ の 他	69,344	98,514	固 定 負 債	308,818	596,812
貸 倒 引 当 金	△ 13,152	△ 17,462	リ ー ス 債 務	47,250	－
固 定 資 産	4,173,347	4,766,309	繰 延 税 金 負 債	126,317	339,286
有 形 固 定 資 産	1,940,719	1,423,447	退 職 給 付 引 当 金	2,362	1,853
建物及び構築物	957,100	612,863	役員退職慰労引当金	123,680	147,960
機械装置及び運搬具	625,294	495,915	生産拠点移転統合損失引当金	－	101,437
土 地	266,959	266,959	そ の 他	9,207	6,275
リ ー ス 資 産	47,927	－	負 債 合 計	976,059	1,400,722
そ の 他	43,438	47,709	(純 資 産 の 部)		
無 形 固 定 資 産	97,693	133,021	株 主 資 本	8,385,497	8,849,409
投資その他の資産	2,134,934	3,209,840	資 本 金	923,325	923,325
投資有価証券	878,875	1,368,862	資 本 剰 余 金	758,014	758,014
長 期 性 預 金	700,000	1,200,000	利 益 剰 余 金	6,809,445	7,180,076
そ の 他	667,954	647,224	自 己 株 式	△ 105,286	△ 12,006
貸 倒 引 当 金	△ 111,895	△ 6,246	評 価 ・ 換 算 差 額 等	151,070	620,353
資 産 合 計	9,842,498	11,239,455	その他有価証券評価差額金	179,777	455,560
			為替換算調整勘定	△ 28,707	164,793
			少 数 株 主 持 分	329,869	368,969
			純 資 産 合 計	8,866,438	9,838,732
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	9,842,498	11,239,455

「投資有価証券」の減少は、保有株式の株価下落の影響によるものです。

「たな卸資産」「商品及び製品」「仕掛品」「原材料及び貯蔵品」の変動は、財務諸表等規則の改正により、表示方法が変更されたことによるものです。

「建物及び構築物」「機械装置及び運搬具」の増加は、新染色工場の建設及び同工場の機械設備等の導入によるものです。

連結損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
売 上 高	4,990,255	5,117,456
売 上 原 価	3,563,072	3,468,297
売 上 総 利 益	1,427,183	1,649,158
販売費及び一般管理費	1,513,938	1,507,272
営 業 利 益 (△は損失)	△ 86,755	141,886
営 業 外 収 益	92,146	75,437
営 業 外 費 用	137,914	25,418
経 常 利 益 (△は損失)	△ 132,523	191,906
特 別 利 益	3,954	1,206
特 別 損 失	47,219	12,196
税金等調整前当期純利益 (△は損失)	△ 175,787	180,916
法人税、住民税及び事業税	14,529	43,983
法 人 税 等 調 整 額	22,972	27,780
少 数 株 主 利 益	58,847	69,269
当期純利益 (△は損失)	△ 272,137	39,882

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,947	468,873
投資活動によるキャッシュ・フロー	343,265	296,518
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 210,945	△ 123,165
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 93,411	△ 35,417
現金及び現金同等物の増加額	249,856	606,808
現金及び現金同等物の期首残高	1,387,156	780,348
現金及び現金同等物の期末残高	1,637,013	1,387,156

連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	923,325	758,014	7,180,076	△ 12,006	8,849,409	455,560	164,793	620,353	368,969	9,838,732
連結会計年度中の変動額										
剰 余 金 の 配 当			△ 91,413		△ 91,413					△ 91,413
従業員奨励及び福利基金繰入額			7,080		7,080					7,080
当 期 純 利 益			△ 272,137		△ 272,137					△ 272,137
自 己 株 式 の 取 得				△ 93,280	△ 93,280					△ 93,280
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 275,782	△ 193,500	△ 469,283	△ 39,099	△ 508,382
連結会計年度中の変動額合計			△ 370,631	△ 93,280	△ 463,911	△ 275,782	△ 193,500	△ 469,283	△ 39,099	△ 972,294
平成21年3月31日残高	923,325	758,014	6,809,445	△ 105,286	8,385,497	179,777	△ 28,707	151,070	329,869	8,866,438

個別財務諸表

個別貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当 期 (平成21年3月31日現在)	前 期 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	4,563,586	5,161,658
固定資産	4,436,774	4,940,793
有形固定資産	1,569,926	965,610
無形固定資産	88,380	119,400
投資その他の資産	2,778,467	3,855,782
資産合計	9,000,360	10,102,451
(負債の部)		
流動負債	416,409	458,537
固定負債	305,379	565,484
負債合計	721,788	1,024,022
(純資産の部)		
株主資本	8,098,794	8,622,868
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,522,741	6,953,535
自己株式	△ 105,286	△ 12,006
評価・換算差額等	179,777	455,560
その他有価証券評価差額金	179,777	455,560
純資産合計	8,278,571	9,078,429
負債・純資産合計	9,000,360	10,102,451

個別損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当 期 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	前 期 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
売上高	4,147,532	4,275,454
売上原価	3,174,436	3,119,192
売上総利益	973,095	1,156,262
販売費及び一般管理費	1,214,216	1,199,313
営業損失	241,121	43,050
営業外収益	127,848	118,167
営業外費用	133,905	21,009
経常利益(△は損失)	△ 247,177	54,107
特別利益	—	—
特別損失	44,774	1,507
税引前当期純利益(△は損失)	△ 291,951	52,600
法人税、住民税及び事業税	6,154	4,640
法人税等調整額	41,274	34,278
当期純利益(△は損失)	△ 339,380	13,682

個別株主資本等変動計算書(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成20年3月31日残高	923,325	758,014	6,953,535	△ 12,006	8,622,868	455,560	455,560	9,078,429
事業年度中の変動額								
固定資産圧縮積立金の取崩			—		—			—
剰余金の配当			△ 91,413		△ 91,413			△ 91,413
当期純利益			△ 339,380		△ 339,380			△ 339,380
自己株式の取得				△ 93,280	△ 93,280			△ 93,280
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△ 275,782	△ 275,782	△ 275,782
事業年度中の変動額合計			△ 430,793	△ 93,280	△ 524,074	△ 275,782	△ 275,782	△ 799,857
平成21年3月31日残高	923,325	758,014	6,522,741	△ 105,286	8,098,794	179,777	179,777	8,278,571

会 社 の 概 要

(平成21年 3 月31日現在)

事 業 内 容

当社グループは、アパレル縫製用及びホームソーイングを始めとする手作りホビー用の縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売も行っております。

創 業	大正10年（1921年）3月
設 立	昭和25年（1950年）1月
資 本 金	923,325,000円
従 業 員 数	162名 ＊パート17名を含む（連結366名）
事 業 所	

本社	管理部・営業本部・研究開発室	京都市北区
東京支店	営業部・物流センター	東京都台東区
滋賀事業所	生産部・物流センター	滋賀県東近江市

平成20年12月1日、山之内事業所を閉鎖し、生産部（染色部門）は滋賀事業所に、同研究開発室は本社に移転いたしました。

連結対象子会社

上海富士克制線有限公司	（生産子会社	上海）
上海富士克貿易有限公司	（販売子会社	上海）
富士克國際（香港）有限公司	（販売子会社	香港）
上海新富士克制線有限公司	（販売子会社	上海 大連 南通 広東 南京 寧波 青島 北京）

役 員

(平成21年 6 月26日現在)

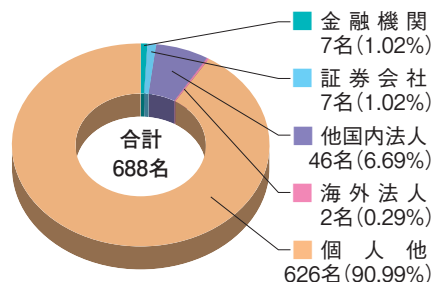
代表取締役社長	藤井 一郎	
常 務 取 締 役	松岡 繁生	営業本部長
取 締 役	森川 幸俊	生産部長
取 締 役	山本 和良	管理部長
常 勤 監 査 役	高橋 篤	
社 外 監 査 役	工藤 雅史	弁護士
社 外 監 査 役	中村 利雄	弁護士

株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数 19,945,000株
 発行済株式の総数 7,340,465株
 株主数 688名
 大株主

株主名	持株数 千株	出資比率 %
藤井幸二	725	10.51
藤井多鶴子	717	10.40
藤井眞津子	391	5.67
小原京子	382	5.54
森本町子	328	4.76
鈴木直子	328	4.76
藤井一郎	293	4.25
藤井太郎	200	2.90
三井住友銀行	184	2.68
フジックス社員持株会	181	2.63

株式分布状況



(注) 当社は、自己株式445千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 基準日 (1) 定時株主総会・期末配当金 3月31日
 (2) 中間配当金の支払いを行うとき 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 単元株式数 1,000株
 株主名簿管理人 住友信託銀行株式会社
 及び特別口座の口座管理機関
 株主名簿管理人 〒540—8639 大阪市中央区北浜4丁目5番33号
 事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物の送付先 〒183—8701 東京都府中市日鋼町1番10
 及び照会先 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120—176—417
 (URL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
 公告方法 電子公告としております。
 公告アドレス <http://www.fjx.co.jp/> (当社ホームページ)
 証券コード 3600

【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様の住所変更等のお届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡下さい。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(証券保管振替機構)を利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設致しました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届けは、上記の電話照会先をお願い致します。

最近のトピックス

平成21年3月

会員制コミュニティサイト「できるよ.com」を開設しました。独自開発した手作りおたすけソフト「Fデザイン」が無料ダウンロードでき、初心者でも簡単にアイテムが作れます。会員同士の情報交換や自分の作品を掲載できるページ、また京都情報をメールマガジンで配信しています。

<http://www.dekiruyo.com>



平成21年5月

会員制コミュニティサイト「できるよ.com」が、日本ホビー協会主催2009日本ホビーショー「第9回ホビー産業大賞」において、日本ホビー協会賞を受賞しました。



新製品

都手まり花糸

手まり用の糸として絹のように光沢のある「都手まり糸」に、光沢のない素朴な風合いで、むらのない適度な毛羽を持つ柔らかな糸「都手まり花糸」を追加しました。色あせず丈夫で刺ししやすい糸なので、手まり作りに最適です。



TRAPUNTO
COTONE

(トラプントコトローネ)

「トラプント」とは手芸綿やコードを詰めることで立体感を表現するキルト技法の一つです。従来トラプント専用のコードがなかったため毛糸が使われていましたが、「トラプントコトローネ」は伸びが少なく糸割れしにくいので、毛糸よりも扱いやすくなっています。



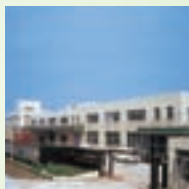
フジックスグループNetwork

★ 営業部門

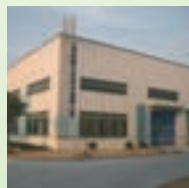
● 生産部門



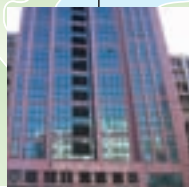
喜樂多拼布店 (キルトショップ)



上海富士克制線有限公司



上海新富士克制線有限公司
大連分公司
南通事務所
広東事務所
南京事務所
寧波事務所
青島事務所
北京事務所



富士克國際 (香港) 有限公司

※平成20年9月新設

★ 北京

★ 大連

★ 青島

★ 南京

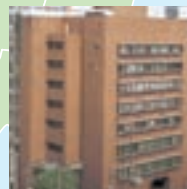
★ 南通

● 上海

★ 寧波

★ 広東

★ 香港

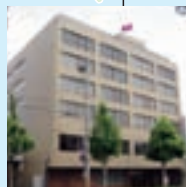


東京支店

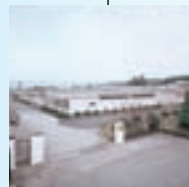
★ 東京

● 滋賀

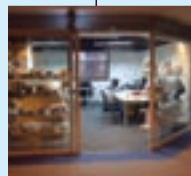
★ 京都



本社



滋賀事業所 (工場・物流センター)



上海富士克貿易有限公司

ホームページのご案内
財務情報をはじめとした会社案内や会社情報、商品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。
<http://www.fjx.co.jp>



FUJIX Ltd.

